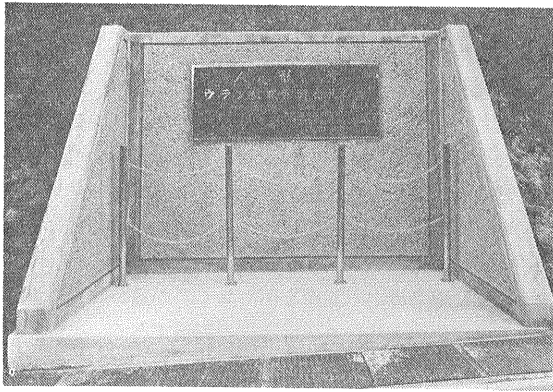


挙行し 当時の地質調査所長 兼子 勝氏 技術指導を
いただいた東京大学名誉教授 片山信夫氏 岡山大学教
授逸見 吉之助氏を お招きして謝恩の意を表するとと
もに 現所長 磯見 博氏には 地質調査所を代表し
現状を御視察いただいた次第である。

なお カーボン調査で放射能の異常を初めて認めた
地点は 当時は 表土・草木で覆われ 地質の实体は不
明であった。この地点で 表土剥ぎ作業を^{みぞれ}糞降りしき
る中に行い 県道のレベルから上部に向い 花崗岩 基
底礫岩 アルコーズ砂岩 泥岩 等が顔を出し 粒間の

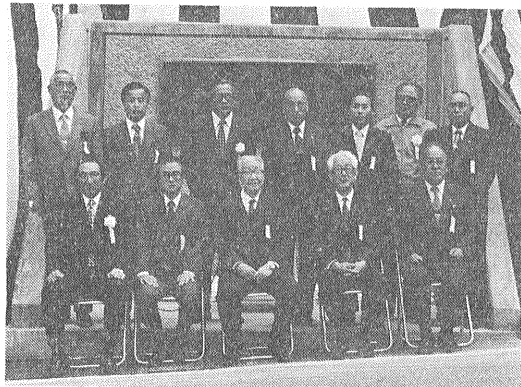


人 形 峠

ウラン鉱床露頭発見の地

昭和30年11月12日発見
通商産業省地質調査所
鉱業権者 動力炉・核燃料開発事業団

昭和56年3月27日建立



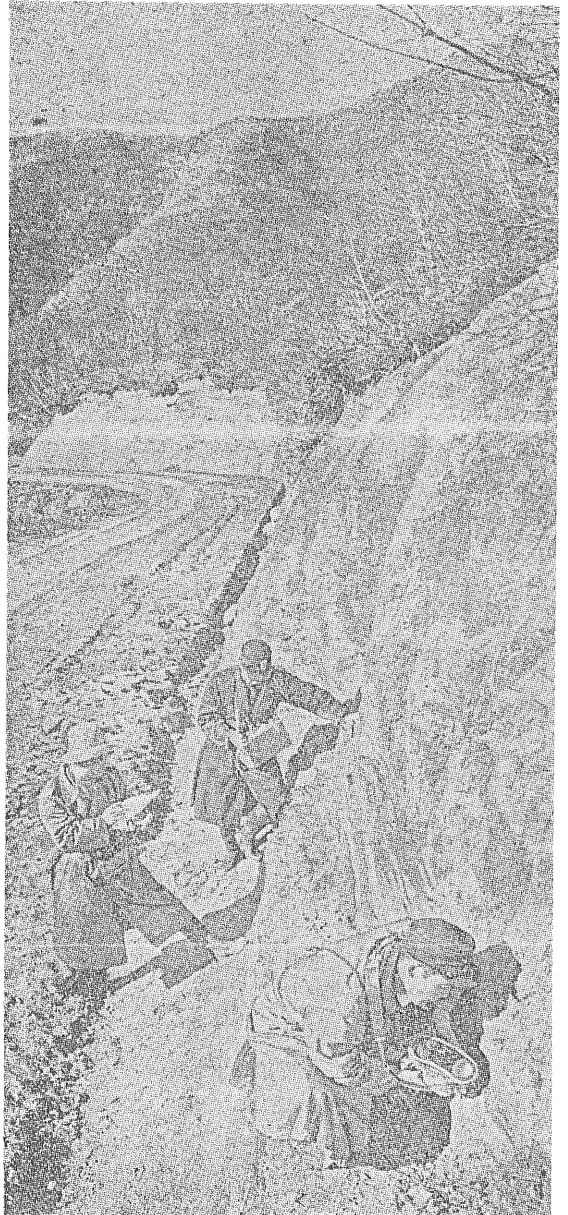
除幕式

前列左より 伊勢谷理事 磯見所長 兼子元所長
片山名誉教授 逸見教授
後列左より三番目が筆者

空隙の一部から燐灰ウラン石の美晶を見出したのであ
る。当時の測定 サンプリングの現状をとどめた写真
が出てきたので添附した。右端は故 中沢次郎氏 真
中は 丸山修司氏 左端は筆者である。

3名とも アメ横の進駐軍払下げ防寒コートに身を固
めている。時代が思い出されて懐しい。

健斗された故 中沢次郎氏の御冥福を祈り 擱筆する。



トレンチ調査